

京都の生協

京都府生活協同組合連合会(府連)NEWS

4

(通常総会特集)

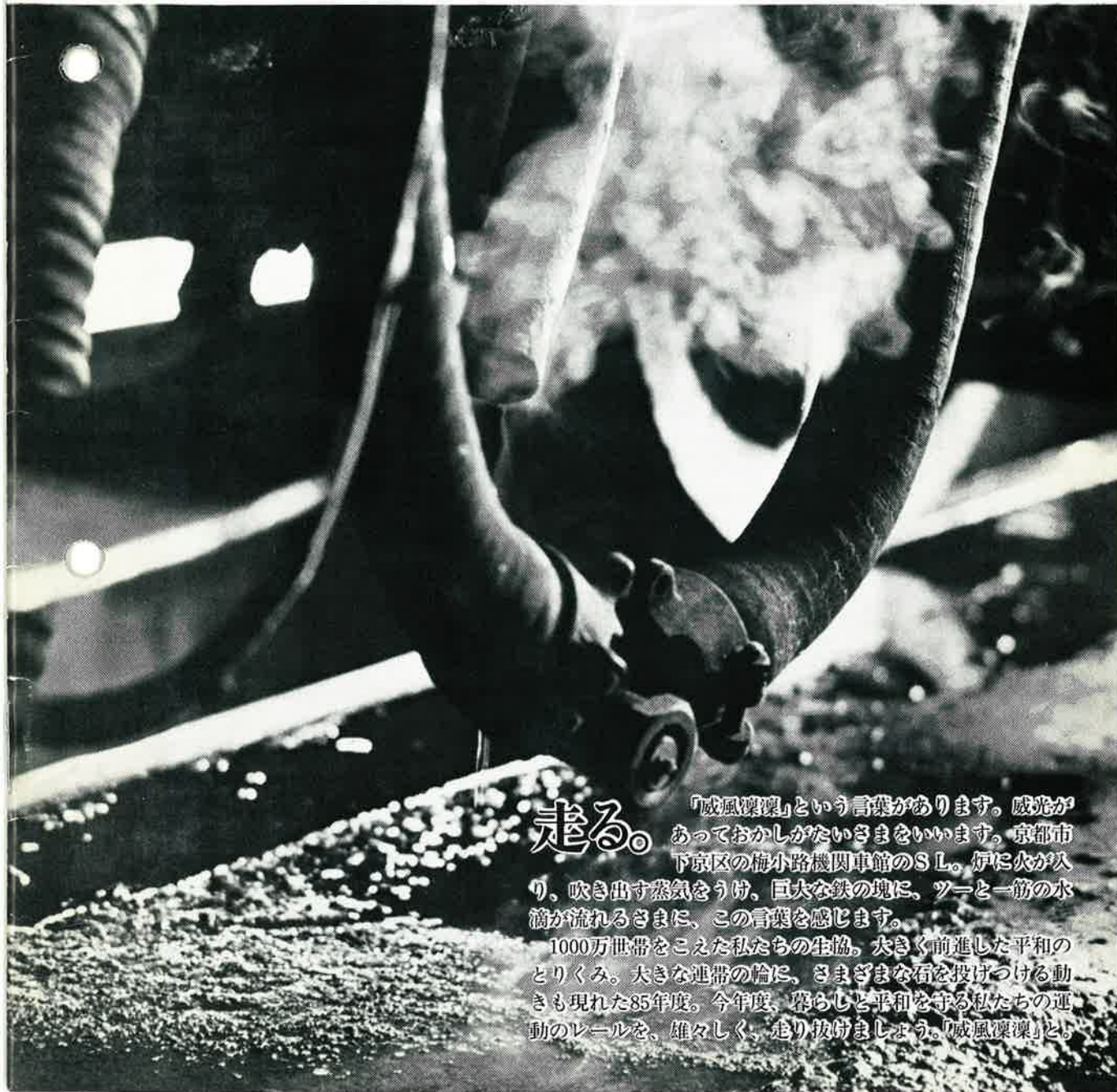
第33回通常総会議案書

1986年4月28日(月)午後1時30分～4時30分

せいきょう会館第1会議室

発行/京都府生活協同組合連合会 APRIL●1986

〒604 京都市中京区夷川通烏丸東入ル西九軒町291
せいきょう会館内 ☎211-8519



走る。

「威風凛凜」という言葉があります。威光があっっておかしがたいさまをいいます。京都市下京区の梅小路機関車館のSL。炉に火が入り、吹き出す蒸気をうけ、巨大な鉄の塊に、ツ—と一筋の水溜が流れるさまに、この言葉を感じます。

1000万世帯をこえた私たちの生協。大きく前進した平和のとりくみ。大きな連帯の輪に、さまざまな石を投げつける動きも現れた85年度。今年度、聲らしと平和を守る私たちの運動のルールを、雄々しく、走り抜けましょう。「威風凛凜」と。

第33回通常総会議事次第

1. 開会のあいさつ
2. 会長理事あいさつ
3. 来賓祝辞
4. 議長選出
5. 総会役員選出（議長、選挙管理委員、役員選考委員）
および議事録署名人指名、書記任命
6. 議事の審議・決定
 - 第1号議案 1985年度活動報告、決算報告（監査報告）及び
剰余金処分の件
 - 第2号議案 1986年度活動方針及び予算決定の件
 - 第3号議案 定款の一部改正に関する件
 - 第4号議案 役員選挙に関する件
7. 閉会のあいさつ

第33回通常総会議案

第1号議案

1985年度活動のまとめ

1. 1985年度の情勢と活動

この1年間、「臨調行革」路線のもとで福祉・医療・教育の予算が削られました。また、公共料金の引き上げ、健康保険制度、年金制度につづき、老人保健法の再改悪がはかられ、国民のくらしと健康をおびやかすような動きがいつそうつよまっています。

わたくしたちが生きていくうえで最も大切な平和の問題も、きわめて厳しい状態になってきました。軍事費だけが大きく突出し、さらに靖国神社の公式参拝、国家秘密法制定のうごき、「日の丸」・「君が代」を教育現場におしつける等、軍国主義的な色彩をおびたうごきがつよまっています。

また、核巡航ミサイル・トマホーク積載艦のうけいれ、「非核三原則」が空洞化されるなど、わが国を核戦争の危険にまきこむ政策もつよまっています。

こうした情勢のもとで、暮らしと健康をまもる運動、核兵器の完全禁止をめざし平和を守る運動は大きく前進しました。平和を願う広範な国民は、さまざまな困難をのりこえて、昨年のもくろみ

大会で「広島からのよびかけ」を採択しました。

核廃絶をめざし、平和を守るとりくみへの組合員の参加は、全国各地でも京都府下でも大きくひろがりました。「非核京都府宣言」は残念な結果になりましたが、「非核自治体宣言」をめざす運動は全国では、930自治体(全国比28%)が宣言し、国民の過半数(6,200万人)がその自治体に生活しているまでになっています。85年平和行進、「平和のための戦争展」などのとりくみも大きく成功しました。

暮らしと平和をまもる活動を地域に根ざして、草の根からすすめている生協運動への共感・期待は大きく広がり、全国であらたに80万人の仲間を迎え、1,000万人を突破する大きな組織にひろがり、生協の社会的役割はますます重要になってきました。

京都でも、各生協は組織をひろげ、運動と経営をつよめてきました。地域生協は府下一円に組合員組織をつくりました。大学生協と府庁生協も、組合員の結集のつよまりと専従役職員の努力によって、

組合員組織をつよめ、経営を強化してきました。

医療生協では、京都医療生協が着実に前進し、乙訓医療生協が日生協に加入し、暮らしと健康を守る分野が充実されました。

生協運動がこのように発展するなかで、生協を規制し生協の発展を抑えこもうとするうごきが、中央でも、京都府下でもつよまっています。

昨年2月には、「大店法」を改正し生協規制をするうごきがありましたが、組合員のすばやい署名運動のなかで国会日程を阻止しました。また、12月には自民党が議員立法で生協法を改正するうごきがありましたが、広範な反対運動によって12月の臨時国会への上程を断念させることができました。

こうしたなかで、京都府労働部は昭和46年からの制度融資である生協への設備資金貸付制度を36都道府県に先がけて廃止しました。京都府生協連が融資制度の充実、発展を京都府に要望している矢先でもあり残念であります。

日本生活協同組合連合会（日生協）の第三次中期計画にもとづいて、地域に根ざした連帯と民主的運営をつよめるために、「関西地連」が発足しました。

このような情勢のもとで、京都の生協はつぎのような成果をあげ、前進することができました。

(1) 組合員組織がひろがり府下全自治体に生協をつくり、大きく前進しました。

①1977年に策定した第二次中期計画以来の目標であった府下北部での組織づくりは、大きく前進し空白地域をなくしました。

(ア)京都生協の中丹支部、舞鶴支部につぎ丹後支部が設立され、中丹支部が結成され3年間で12,000人の組合員(12%)

が急速に組織されたことは、生協を多くの府民が待っていたことを示すものです。

(イ)京都医療生協は、京大生協との事業連帯を開始しました。乙訓医療生協も日生協に加盟し、大きく組合員をふやしました。

(2) 会員生協の組織と経営が強化されました。

①京都生協は、この1年間にあらたに27,000人の組合員をふやし、206,000人(世帯比25%)の組合員になりました。

②大学生協は、組合員の結集と専従役職員の努力によって経営を改善することができました。

③府庁生協は、組織強化をはかりながら、新規事業などの組合員要求にこたえ、経営の安定化をはかりました。

④京都医療生協は、組合員を大きく拡大し、講演会や文化・保健活動などを前進させました。

(3) 平和とくらしを守る活動が大きく前進しました。組合員の連帯と団結が強まりました。

①核兵器の廃絶をめざし、平和を守る活動がひろがりました。

②市場開放行動計画に反対する活動、年金改悪、老人保健法改悪に反対するたたかいなど、暮らしをまもる活動が、京都消費者団体連絡協議会(京都消団連)に結集してすすめられました。

2. 運動の到達点と活動のまとめ

(1) 会員生協の連帯をつよめ組織と経営をつよめる課題

①大学生協の経営は、組合員の結集のつよまり、管理力の向上などによって、昨年にひきつづき大きく改善されました。特に再建3年目の立命館大学生協は、再建計画に基づいて着実に経営を改善してきました。また、同志社大学生協は田辺校地への一部移転にとまひ、食堂への業者導入などの困難のなかで事業所の開設をすすめました。

京都生協は組合員が順調にふえ、206,000人に到達しましたが、1人あたりの利用が低下するなかで、大きく予算を割るという事態になりました。

大学生協の場合は、京都府生活協同組合連合会(京都府生協連)とともに全国大学生生活協同連合会(大学生協連)という上部組織があり、京都府生協連と大学生協関西地連・京滋ブロックが力をあわせ、役割分担を明確にし、指導活動を強化しなければなりません。

②設立2年目を迎えたあみの生協は、困難な条件のもとで、組織と経営の基盤を確立するためにねばりよく努力してきました。京都生協と、あみの生協は協議した結果、活動区域の決定と京都生協との業務提携、連帯をつよめることを合意し、あみの生協は第2回総代会でそのことを確認しました。

③異種生協間の連帯、提携の強化は、今後の重要な課題です。

京都医療生協は、創立35周年を迎え、新しい段階での発展をめざし努力しています。乙訓医療生協も、2年目を迎え、診療所の改装を成功させ、地域医療発展

に貢献することができました。

医療の分野では健康保険本人一割負担にひきつづき、老人保健法の改悪のうごきがありますが、医療生協と購買生協の連帯の力ではねかえしていきましょう。

京都医療生協は組合員の相当数が大学生であるため、大学生協との提携のあり方や、地域に根ざした組織づくりについて検討しなければなりません。

労済生協との関係は、労働者福祉協議会の場での交流にとどまっていますが、京都生協と労済生協の提携もおこなわれており、京都府生協連の場における提携を促進しなければなりません。

労働金庫との提携についても重要な検討課題です。

④地域・大学・職域生協の事業改善は着実にすすめられました。

(ア)CO-OP牛乳をはじめ、CO-OP牛乳を使用した商品、カタログ供給事業、京都生協CO-OP商品の大学生協、府庁生協への導入、コンピュータの共同利用、サービス事業を成功させてきました。また、文化事業センターの共同運営も着実に前進しました。一方、府庁生協、大学生協などから京都生協のCO-OP商品の導入の要望がだされており、話し合いが進められています。

(イ)京都生協が府下一円を活動エリアにするなかで、府庁生協との連帯のあり方を具体的に検討する段階に入ってきています。両生協の話し合いは進められていますが、双方の役割分担の明確化とシステムの共有化など、組織的にも、政策的にも明確にし、基本的な合意づくりをはかる必要があります。

(ウ)文化事業センターが大学生協と地域生協との共同事業として発展し、組合員の文化・リクリエーション活動のみならず、くらし全般に役立つ事業活動の基盤がいっそう整備されました。

(2)京都府下一円に生協の組合員組織をひろげました。

①京都生協では83年に中丹、南丹支部、84年に舞鶴支部、85年に丹後支部を開設し、網野町を基盤とするあみの生協とも事業提携を深め、府下の全自治体に生協組織を確立し、創立21年目にして歴史的な年になりました。

②京都府生協連は、府北部の空白をなくすため4年にわたって専任の担当者を配置し、地元の組合員、民主団体をはじめとする多くの団体・個人と協力し、積極的な役割をはたしました。

③生協のない大学においても、京都市立芸大をはじめとして、生協設立をねがう声ひろがっています。

大学生協の設立支援は、大学生協関西地連の役割ですが、京都府生協連としても京滋ブロックと協力して、適切なかたちで支援活動を進めなければなりません。

(3)くらしと健康、平和と民主主義をまもる課題

①政府の「臨調・行革」路線のもとで、受益者負担のおしつけなど、私たちのくらしは、ますますきびしくなっています。

くらしと健康をまもる組合員の活動は、学習活動を基盤に多面的にとりくまれてきました。これらの活動の中で他団体との協力した活動もひろがりました。

(ア)市場開放行動計画による

規制緩和に反対する活動

日米貿易摩擦を理由にした輸入商品の規制緩和によって、検査を企業の自己認証にするなど、消費者の安全性の要求を

無視したことが行われています。京都消団連では大阪空港、神戸港の見学を行い、全国で僅かに64人の検査官しかいないなかでの外国の食料品のずさんな検査実態を確認しました。

(イ)食品添加物の規制緩和に

反対する活動

83年秋に全国的な反対運動にもかかわらず、11品目の食品添加物が認可されましたが、その後のアスパルテーム(人口甘味料)などが安全性で疑問がもたれるなど多くの問題がでています。

(ウ)水と環境をまもる活動

近畿地区の生協のなかまと協力して、第4回近畿地区生協組合員交流集会を成功させました。

また、淀川水系の汚染が進行するなか、せつけんの一層の普及と、生活排水のチェック運動が重要です。

(エ)老人保健法の再改悪に反対し、医療制度をまもる活動

83年の健保一割負担、85年の年金改悪、そして老人保健法の再改悪問題にみられるように、福祉の後退が高齢化社会のなかで顕著になってきています。医療生協を中心に広範な運動をすすめ、健保、年金改悪の時のように共同行動として発展させましょう。

(オ)円高差益を消費者に還元させる活動

消費者に高い料金をおしつけながら、膨大な利益をあげている大阪ガス・関西電力に対して、京都消団連は交渉を行ってきました。5月から値下げが実施されますが、大幅な値下げが可能にもかかわらず、わずかな額にしかなっていません。灯油・ガソリンを含め、円高関連商品の価格の適正化を要求してきました。

②核兵器廃絶をめざし、平和をまもる活動は、草の根の広範な平和を求める声のなか、米ソの首脳会談が実現され、はじめてソ連のゴルバチョフ書記長が21世紀

まで核兵器を廃絶する提案をするなど、一步前進した局面もありました。しかし、国内では軍事費のGNP1%突破、靖国神社公式参拝、国家機密法制定など、平和の危機と軍国主義復活のキナクさい動きも依然として強まっていることに注目していく必要があります。この1年間、つぎのような活動が進められました。

(ア)反核・平和のとりくみ

昨年5月に「東京宣言」の起草委員長の安斉育郎氏を講師に迎え、2回の学習会を350名の参加で成功させました。また、6月には反核・平和フェスティバルを450名の参加で成功させました。この二つのとりくみは、京都府生協連主催で各単協の意見を結集した実行委員会形式で開催しました。

(イ)平和行進と原水禁世界大会への参加
生協がとりくみをはじめた3年目の平和行進は、総評・原水禁が広島からの逆コースを行進する複雑な情勢のなか、生協、府連青、日本山妙法寺の反核・市民行進と、原水協、平和委員会の国民平和行進が同一のコースを歩くことに成功しました。

行進参加者も昨年の1,600名を上まわる2,000名以上の組合員、専従者が網の目平和行進など創意・工夫をこらして行進に参加しました。

世界大会への代表派遣では、各生協が、地域、職場、学園に根ざした活動を進めました。

(ウ)戦争展を成功させるとりくみ

5年目を迎えた「平和のための京都の戦争展」は18万人が参観し、京都の運動として定着し成功をおさめました。京都生協は、「戦時下のくらしのコーナー」を担当し、積極的な役割をはたしました。また、大学生協は食堂を担当し、収益金を戦争展実行委員会に寄贈し、財政的にも大きく貢献しました。

京都生協の地域での平和のとりくみも、舞鶴の「浮島丸事件」をテーマにした桂組合員センターでのとりくみなどはマスコミにも大きくとりあげられ注目されました。多くの大学生協でも学園祭で「戦争展」にとりくまれ、草の根の平和運動が大きく進みました。

(4)生協規制に反対し、生協の育成強化を求める活動

①京都府労働部は、自民党府議の「平和運動をするような生協への融資は廃止せよ」との発言に屈服し、全国的な生協規制に呼応して、36都道府県の先頭をきって、生協対策資金を廃止しました。ある自民党府議は「大学生協の利用している運転資金の融資制度も廃止せよ」とまで言及し、京都府にすべての融資制度を廃止するように迫ったと聞き及んでいます。自主的な消費者団体である生協を育成するためつくられた、これらの諸制度を廃止するうごきに対しては、断固反対し、組合員とともに反対運動をすすめるなければなりません。

中央では、自民党の生協問題小委員会が①員外利用禁止、②店舗開設を大法扱いで、③チラシ、宣伝活動の制限などを議員立法で国会に上程するうごきがあり、また厚生省は、生協法の抜本的見直しをはかり「生協のあり方懇」を結成いたしました。

②こうした状況のもとで、京都府生協連は生協規制反対の署名を春と秋の2回に分けて展開しました。秋の署名は3月末日現在31万を突破し、生協の独自署名としては過去最高の実績をつくりあげました。

署名の到達状況(3/31現在)

生協名	署名目標	到達	生協名	署名目標	到達
京都生協	300,000	286,776	工織大学生協	1,500	1,059
あみの生協	1,000	851	平女短大生協	800	408
京都大学生協	10,000	7,816	橋女子大生協	600	333
同志社大生協	9,000	1,548	大谷大学生協	600	710
立命館大生協	10,000	8,000	府庁生協	6,000	3,445
府大医大生協	1,000	905	京都医療生協	3,000	915
教育大学生協	1,000	473	事業連合	4,000	1,100
龍谷大学生協	4,000	3,880	計	352,500	318,219

この成功は、地域、大学での生協規制の反対学習会のとりにくみや、「2・24くらしを守る春の生協組合員集会」を1,400名の参加で成功させたことなどが背景になっています。同時に地方自治体、議員、商工業団体との対話運動も生協をしらせる視点からとりくんできました。(ア)京都府及び京都市に対して、消費者行政の充実強化と生協育成をもとめる要請書を提出しました。

(イ)国会議員との懇談会は、民社党永末英一代議士、共産党梅田勝代議士、佐藤昭夫参議院議員、神谷信之助参議院議員との間で実現することができました。また、生協規制に反対する賛同署名は、公明党(竹内勝彦、西中清)、民社党(玉置一弥)、社会党(山中末治)、共産党(梅田勝、佐藤昭夫、神谷信之助)の各議員から得ることができました。

(ウ)商工団体との間では、京商連との定期協議のほか、中小企業団体中央会流通部会との懇談が実現しました。

また、商工会議所、農協、漁協、商店街振興組合、市場連合会などに対話の申し入れをしました。

(エ)このようななかで、西新道商店街のなかに商店街事務所と生協運営委員会の集会場が実現したことは画期的なこと

です。

商工業者と消費者の組織である生協は対立するのではなく、互いに話し合うことによって共通点を見つけ、協力共同のとりにくみを実践していくことが、今さし迫って大切になっています。

(オ)京都大学では地元書店との対話がすすめられています。京都府生協連は京都書店組合、京都家電組合との懇談会実現のために努力するものです。

(5)府市民本位のまちづくりをめざす活動

①京都是、古都税紛争による拝観停止、かつてない事態に加え、円高とのダブルパンチによって深刻な打撃をうけています。京都市と寺院側が、市民に納得のいく形での解決のための話し合いが早急に実現することを望むものです。

②京都府生協連は、京都・府市民団体協議会、京都労働者福祉協議会などに参加し、くらしと平和を守り、民主的なまちづくりを進めるために他団体との連帯を進めてきました。

③京商連(京都府商工団体連合会)とは、1976年に締結した「協定書」にもとづく共同行動を発展させるために、定期協議会を重ねてきました。今年は協定書締結10周年の年であり、協定書の精神にのっ

とり、消費者と商工業者との一層の団結が望まれます。この1年間の定期協議を通じて、事業提携も左京区や西京区で実現し、協定書も伏見区や東山区などで調印できました。

行政区レベルでの地域協議会を開催する前提として、双方共通のテーマで専従者を中心とした学習会を開催することも合意できました。さらに粘りづよい話し合いをつづけ相互理解を深めて、事業活動とくらしを守る共同行動を一層発展させることが、ますます重要になっています。

④京都生協では、府下の農協(連合会、単協)、漁協(連合会)、中小企業団体、医療団体など府下の協同組合や事業団体との話し合い・交流をすすめると同時に事業提携の実現をめざしてきました。⑤府下の伝統産業をまもり、消費者のくらしの向上に貢献するために、京商連とともに「伝統産品研究会」を発足させま

したが、提携を具体化する方針を急がねばなりません。

(6)京都府生協連を強化し、生協の社会的役割を高める活動

①京都府生協連は、府下の生協間連帯を強めるとともに、関西地連に結集して、近畿地区の会員生協との連帯を進めてきました。

また、京都府下の諸団体に対しては、生協の社会的役割についての認識を広げるために、共同行動を強めてきました。さらに、地方自治体に対しては、消費者行政の充実強化を求める活動を積極的に進めました。

②会員生協間の連帯活動を強めるために、会員生協の日常的結集と、事務局会議、三役会議、常任理事会、理事会などの機関の民主的運営に留意し、政策討議を強めるようにつとめて、一定の前進をすることが出来ました。

第2号議案

1986年度の活動の方針

1. 86年度の活動の基調

京都府生協連の第4次中期計画（86年度～90年度の4ヵ年）の初年度であり、その実践の第1歩をふみ出す年です。

第4次中期計画は「地域社会の一員としての生協運動」をつくりあげ、これをテーマに掲げ、京都府生協連の3つの役割（①会員生協・組合員の交流・連帯を促進する役割 ②生協組合員・府民全体

にかかわる諸問題の解決をめざす運動を促進する役割 ③府内の各界各層との提携・連帯をはかり、生協の姿を知らせる活動を推進する役割）を明らかにしていきます。

86年度は、この3つの役割を6つの課題として具体化し、活動をすすめることとします。

2. 86年度の活動の課題と方針

(1) “生協規制”（生協法を改悪し、生協の活動を抑える動き）をはねかえし、生協を強める活動をすすめます。

①いま開かれている通常国会への生協法改悪法案の上程を許さないための全国的行動に参加します。

②生協法（消費生活協同組合法）そのものの学習をひろげ、生協を知る活動にとりくみます。

③府内の全自治体に対して、「生協規制に反対する政府への意見書」の採択を求

めるとりくみをすすめます。また、全国的な動きもにらみつつ、この秋から冬にかけての適当な時期に、「暮らしを守る秋(冬)の組合員大集会」を開催します。

④「消費生活協同組合対策資金」の復活・拡充などを京都府に求める活動にとりくみます。

(2)生協の姿や役割を多くの人びとと共に考え、生協の活動を多くの人びとに知らせる活動をすすめます。

①京都の生協運動の地域社会における役

割を明らかにするため、各界各層の人びとの意見をお聞きし、理解を深めあうシ

ンポジウムを開きます。

(会場はいずれも せいきょう会館4階 10:00～12:00、但し第一回のみ13:30～15:30)

回	日 程	テ ー マ (仮)	担当理事
1	6 / 2 (月)	中小企業・伝統産業のまち——京都 ～ 事業体としての生協の役割 ～	
2	7 / 12 (土)	農協・漁協・森林組合・生協の提携 ～ 協同組合の役割を考える ～	
3	9 / 8 (月)	農漁業・食糧がかかえている問題 ～ 生協の事業活動としてできることは何か～	
4	10 / 27 (月)	学術・文化・教育のまち——京都 ～ 生協はどんな役割を果たせるか～	
5	12 / 8 (月)	くらしと政治 ～ 生協運動とのかかわりあい考える～	
6	1 / 26 (月)	高齢社会と社会福祉 ～ 生協としてどのようにかかわるか～	
7	3 / 9 (月)	地域の諸組織 ～ 生協活動に求められているもの～	

②政党、各級議会議員、そして行政との接触をひろげ、懇談の機会を設けます。

③パンフ「京都の生協運動」の86年度版を発行します（9月刊）。

④各種団体の機関紙誌、マスコミ各社との関係強化をはかるよう、とりくみます。

(3)くらしと平和を守り、住みよい社会にしていいため、諸活動にとりくみ、消団連の活動を強化します。

①消団連の事務局団体として、京都の消費者運動の発展のために力をつくします。

②国連・国際平和年にふさわしく、「核兵器と人類は共存できない」の立場から、平和のとりくみをすすめます。

③各種の大型間接税の導入を許さない府民運動に参加し、役割を果たします。

また、老人保健、医療など福祉の分野

ですすむ制度改悪に反対する府民運動に参加し、役割を果たします。

④食品添加物の規制緩和と食糧などの無制限な輸入に途をひらき、くらしの安全性をおびやかす市場開放行動計画に対して、必要かつ有効な行動をすすめます。

(4)会員生協の発展・強化をはかり、役員・組合員の教育・学習活動への援助を強めます。

①田辺校地への移転後の同志社大学生協をはじめ、会員生協がかかえている諸課題解決のため力をつくします。

②府民のくらしや地域の諸問題、住民諸団体の動きを会員生協に伝える資料・情報提供の機能をつよめます。

③京都生協の3つの研究会（生協理論、地域問題、食糧問題）の研究・調査の成

果を京都の生協運動全体の共有財産とするようとりくみます。

④イタリアの協同組合運動の現状と到達点を研究し、学ぶ場を設けます。

□会員生協の組合員同士の交流を基礎として、協同組合間の連帯・提携を促す活動にとりくみます。

①京都医療生協と京大生協の業務提携の経験にも学び、府庁生協と京都生協との質の高い連帯をはかるなど、会員生協の連帯を強めます。

そのためのひとつの機会として、会員生協の理事長（組合長）、専務理事交流・懇談会を秋（9月8日）に開きます。

②農協・漁協・森林組合及び中小企業分野の各種事業協同組合との提携・「産直」の輪を広げます。

特に、書籍、家電の組合との懇談の場を早急に設けます。

又、京商連（京都府商工団体連合会）と京都府生協連の協定10周年を記念するとりくみをすすめます。

さらに、KBS京都から呼びかけられている“生産と消費を結ぶ協同組合フェスティバル（仮）”（11月1日～3日）の実行委員会に加わり、役割を果たします。

③日本生協連（関西地連）、大学生協連

（京滋ブロック）の方針のもと、近畿地区の府県連との連帯を強め、共通する課題での共同行動をすすめます。

特に、滋賀県連とは、この夏に交流会を実施します（8月25日）。

④大学生協の学生組合員と地域生協の主婦組合員の食生活をめぐる交流の実施など、生協組合員の交流を促進します。

⑥京都府生協連が求められている役割が果たせるよう、理事会・事務局が一体となって活動にとりくみます。

①府連ニュース「京都の生協」の定期発行（隔月）をはかり、生協の内外の動きが、生協の内外に伝わるようにします。

②各種協同組合連合会役員との研究・懇談的組織の発足をはかり、積極的な役割を果たします。

③理事会のもとに、生協規制対策、平和の活動推進、まちづくり・連帯、融資対策の4委員会を設け、活動をすすめます。

又、牛乳協議会（大山乳業農協、京都生協、大学事業連合、大学生協）の事務局を担当し、京商連との定期協議会も開催します。

④会員生協の協力も得ながら、理事会、事務局が仕事を分担しつつ諸活動をすすめます。

85年度 決算 報告

85.4.1～86.3.31

【収支計算書】

収入の部		支出の部	
前期繰越剰余金	5,717,139	日生協会費	13,721,100
府連会費	20,050,000	（うち生協規制特別会費）	(1,150,800)
（うち生協規制特別会費）	(802,000)	経費	39,305,519
日生協会費	12,721,700		
（うち生協規制特別会費）	(1,150,800)		
日生協助成費	9,874,238		
特別会費	5,957,972		
退職給与引当金戻入	2,992,279		
賞与引当金戻入	2,557,071		
雑収入	1,208,117	当期剰余金	8,051,897
計	61,078,516	計	61,078,516

【経費明細書】

	予算	実績	増減
経費	37,417,000	39,305,519	1,888,519
1) 人件費	30,726,000	29,112,121	△1,613,879
役員給与	21,442,000	14,791,209	△6,650,791
賞与	7,684,000	5,771,641	△1,912,359
退職金		5,758,779	5,758,779
福利厚生費	1,600,000	1,448,652	△151,348
退職給与引当金繰入		389,224	389,224
賞与引当金繰入		952,616	952,616
2) 物件費	7,493,000	10,193,398	2,700,398
通信交通費	1,600,000	1,644,052	44,052
消耗品費	200,000	466,492	266,492
会議費	300,000	359,842	59,842
調査研究費	400,000	311,820	△88,180
教育文化費	2,702,000	2,743,023	41,023
渉外費	360,000	447,731	87,731
諸会費	750,000	755,160	5,160
支払家賃	600,000	950,000	350,000
貸倒引当金繰入		2,183,775	2,183,775
雑費	581,000	331,503	△249,497

【86年度 予算案】

(千円)

収入の部			支出の部		
科目	'86年度予算案	'85実績		'86年度予算案	'85実績
府連会費	21,948	20,050	日生協会費	(13,000)	(13,721)
日生協会費	13,000	12,721	人件費	(22,000)	(29,112)
日生協助成費	10,000	9,874	役職員給与	15,500	14,791
雑収入	1,000	1,208	賞与	3,500	5,771
前年度繰越剰余金	7,846	5,717	福利厚生費	1,500	1,448
			退職給与引当金繰入	500	389
			賞与引当金繰入	1,000	952
			物件費	(18,794)	(10,193)
			通信交通費	2,000	1,644
			事務消耗品費	500	466
			会議費	700	359
			調査研究費	500	311
			教育文化費	3,000	2,743
			渉外費	400	447
			諸会費	700	755
			支払家賃	1,200	950
			貸倒引当金繰入	0	2,183
			雑費	9,794	331
計	53,794	49,570	計	53,794	53,026

上記'85実績(支出)以外に人件費、退職給与 5,758千円があります

【86年度 府連会費(案)】

(円)

	月 額	年 額
京 都 生 協	1,130,000	13,560,000
京 大 生 協	173,000	2,076,000
同 大 生 協	114,000	1,368,000
立 命 大 生 協	141,000	1,692,000
府 医 大・府 大 生 協	49,000	588,000
龍 大 生 協	51,000	612,000
教 育 大 生 協	17,000	204,000
工 織 大 生 協	25,000	300,000
府 庁 生 協	38,000	456,000
事 業 連 合	12,000	144,000
京 都 医 療 生 協	53,000	636,000
乙 訓 医 療 生 協	2,000	24,000
あ み の 生 協	6,000	72,000
住 宅 生 協	5,000	60,000
労 済 生 協	5,000	60,000
橘 女 子 学 園 生 協	2,000	24,000
平 安 女 学 院 生 協	2,000	24,000
呉 竹 生 協	2,000	24,000
八 条 生 協	2,000	24,000
計	1,829,000	21,948,000

【貸借対照表】

86.3.31現在

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
(流 動 資 産)		(流 動 負 債)	
現 金	320,540	未 払 金	914,880
預 貯 金	11,160,562	預 り 金	0
未 収 入 金	397,815	賞 与 引 当 金	952,616
立 替 金	4,037,125	貸 倒 引 当 金	3,639,625
仮 払 金	0	(固 定 負 債)	
(出 資 そ の 他 固 定 資 産)		退 職 給 与 引 当 金	389,224
関 係 団 体 出 資 金	153,000	(出 資 金)	
差 入 保 証 金	1,300,000	会 員 出 資 金	184,000
		(剰 余 金)	
		法 定 準 備 金	86,800
		教 育 事 業 充 当 金	650,000
		任 意 積 立 金	2,500,000
		当 期 剰 余 金	8,051,897
計	17,369,042	計	17,369,042

【勘定残高明細表】

勘定科目	残 高	明 細
現 金	320,540	
預 貯 金	11,160,562	三和銀行 5,186,801 京都銀行 5,669,735 郵便局 304,026
未 収 入 金	397,815	日生協会費不足分(あみの) 2,700 特別会費(事業連合) 5,000 (橘) 1,000 (平女) 1,000 特別会費立替金 388,115、
立 替 金	4,037,125	家計簿 247,500 環境美化事業団 150,000 休業保障(高橋) 3,639,625
関 係 団 体 出 資 金	153,000	日生協 80,000 賀川教育基金 70,000 労金 3,000
差 入 保 証 金	1,300,000	事務所貸借のための保証金 1,300,000
未 払 金	914,880	生協規制特別会費 794,880 消団連会費 120,000
会 員 出 資 金	184,000	京都生協 20,000 京大生協 20,000 同大生協 20,000 立命大生協 20,000 府大生協 20,000 府庁生協 20,000 竜大生協 10,000 事業連合 10,000 京都医療 10,000 教育大生協 3,000 工織大生協 3,000 労済生協 3,000 住宅生協 3,000 橘生協 3,000 平安生協 3,000 あみの生協 3,000 呉竹生協 5,000 八条生協 5,000 乙訓医療 3,000

【京都府生協連基本項目明細表】

1986. 3. 31現在

	期首現在	増 減		期末現在	備 考	
		増	減			
会 員 数	18	1	0	19		
出 資 口 数	181	3	0	184	増 乙訓医療	
出 資 総 額	181,000	3,000	0	184,000		
種 別	購 買	地 域	4	0	0	4
		職 域	1	0	0	1
		学 園	9	0	0	9
	共 済	1	0	0	1	
	住 宅	1	0	0	1	
	医 療	1	1	0	2	
	連 合	1	0	0	1	

監査報告書

第33回通常総会 御中

監 事 内原 省二
伊丹 正和

1985年度の監査結果について、つぎのとおり報告します。

記

監査日 1986年 4月22日

場 所 京都府生協連事務所

立会人 吉田専務理事, 井上事務局長

(監査結果)

1. 財務諸表は適正なものであることを認めます。
2. 日常的な会計処理にあたっては、いっそうの近代化をのぞみます。
3. 昨年度改善を要望した事項のうち、立替金についてはいまだ解消されていません。
円満な話し合いで今年度中に改善されるようのぞみます。
4. 会員生協にとって府生協連が身近かに意識されるためにも、あるいは、会員生協相互の連帯を促進するためにも、役職員の合同スポーツ大会といったことも企画されるようのぞみます。
5. 府生協連の活動のあり方を考える上で、他府県生協連との交流・研修の機会をもたれるようのぞみます。
6. 各級議会議員や行政、各種団体との話し合い、関係強化のために、特に力をつくされるようのぞみます。
7. 低金利時代にふさわしく、行政の制度融資の条件の見直しのための働きかけをのぞみます。
8. 会員生協間の活動の調整にとどまらず、事業連帯の促進のために理事会のもとに小委員会を設置するなどして、指導性を発揮されるようのぞみます。

剰余金処分(案)について

I. 当期末処分剰余金

当期剰余金 8,051,897

II. これを以下のとおり処分いたします

法定準備金繰入 5,200

教育事業充当金繰入 200,000

次期繰越剰余金 7,846,697

第3号議案

定款の一部改正に関する件

第4号議案

役員選挙に関する件

京都の地域生協 組織状況

1986年3月現在

	世帯数	支部	KCグループ	KC個人	その他	合計	組織率
北 京 区	51,126	4,369	1,274	12,283	657	18,583	36.34
上 京 区	34,785	2,498	23	848	87	3,456	9.93
左 京 区	76,919	6,230	2,537	16,732	434	25,933	33.71
中 京 区	36,194	2,657	620	1,925	101	5,303	14.65
東 山 区	21,897	1,495	10	173	40	1,718	7.84
山 科 区	46,164	6,290	1,232	1,896	778	10,196	22.08
下 京 区	28,431	1,771	21	340	15	2,147	7.55
南 京 区	35,259	3,550	91	538	66	4,245	12.03
右 京 区	69,375	6,422	1,540	6,878	173	15,013	21.64
西 京 区	41,757	5,745	1,594	11,199	151	18,689	44.75
伏 見 区	92,414	9,739	2,789	9,594	948	23,070	24.96
(京 都 市 計)	534,321	50,766	11,731	62,406	3,450	128,353	24.02)
福 知 山 市	20,614	2,748	0	4	0	2,752	13.35
舞 鶴 市	30,799	2,518	0	0	0	2,518	8.17
綾 部 市	12,919	1,570	0	0	0	1,570	12.15
宇 治 市	50,140	7,475	1,018	2,818	448	11,759	23.45
宮 津 市	8,882	714	0	0	0	714	8.03
亀 岡 市	21,103	3,325	1	276	29	3,631	17.20
城 陽 市	23,328	2,701	1,891	2,918	327	7,837	33.59
向 日 市	16,560	2,055	1,175	3,715	115	7,060	42.63
長 岡 京 市	24,295	3,258	1,129	2,651	60	7,098	29.21
八 幡 市	21,864	2,559	1,868	3,399	57	7,883	36.05
(10 市 計)	230,504	28,923	7,082	1,577	1,036	52,822	22.91)
大 山 崎 町	5,256	975	84	512	36	1,607	30.57
久 御 山 町	5,839	807	1	67	16	891	15.25
田 辺 町	11,980	2,199	782	1,386	67	4,434	37.01
井 手 町	2,772	95	5	18	2	120	4.32
宇 治 田 原 町	1,908	358	3	16	0	377	19.75
(綴 喜 郡 計)	16,660	2,652	790	1,420	69	4,831	28.99)

注：KCとは組合員センターの略称

	世帯数	支部	KCグループ	KC個人	その他	合計	組織率
山 城 町	2,402	428	2	30	2	462	19.23
木 津 町	4,415	846	11	34	3	894	20.24
加 茂 町	3,571	1,127	3	14	0	1,144	32.03
笠 置 町	692	71	0	0	0	71	10.26
和 束 町	1,547	173	0	1	0	174	11.24
精 華 町	4,208	898	495	389	6	1,788	42.49
南 山 城 村	941	196	0	0	0	196	20.82
(相 楽 郡 計)	17,776	3,739	511	468	11	4,729	26.60)
京 北 町	1,988	330	0	49	0	379	19.06
美 山 町	1,701	206	0	20	0	226	13.28
(北 桑 田 郡 計)	3,689	536	0	59	0	691	18.73)
園 部 町	3,931	461	0	4	0	465	11.82
八 木 町	2,727	333	1	12	0	346	12.68
丹 波 町	2,289	270	0	11	0	281	12.27
日 吉 町	1,770	194	0	5	0	199	11.24
瑞 穂 町	1,532	101	0	4	0	105	6.85
和 知 町	1,422	74	0	2	0	76	5.34
(船 井 郡 計)	13,671	1,433	1	34	0	1,472	10.76)
三 和 町	1,404	213	0	0	0	213	15.17
夜 久 野 町	1,721	225	0	0	0	225	13.07
(天 田 郡 計)	3,125	438	0	0	0	438	14.01)
大 江 町	1,881	271	0	1	0	272	14.46
加 悦 町	2,282	247	0	0	0	247	10.82
岩 滝 町	1,928	170	0	0	0	170	8.81
伊 根 町	1,099	4	0	0	0	4	0.36
野 田 川 町	3,072	285	0	0	0	285	9.27
(与 謝 郡 計)	8,381	706	0	0	0	706	8.42)
峰 山 町	4,299	610	0	0	0	610	14.18
大 宮 町	2,753	253	0	0	0	253	9.18
(中 郡 計)	7,052	863	0	0	0	863	12.23)
網 野 町	4,774	7	0	0	0	1,352	28.32
丹 後 町	2,378	181	0	0	0	181	7.61
弥 栄 町	1,658	148	0	0	0	148	8.92
(竹 野 郡 計)	8,810	1,681	0	0	0	1,681	19.08)
久 美 浜 町	3,398	180	0	0	0	180	5.29
不 明 行 政 区	0	3,970	156	3,939	451	8,516	0.00
京 都 府 計	860,363	97,940	20,356	84,701	5,069	208,066	24.18

注：網野町の1,352名のうち1,345名はあみの生協組合員。

1985年度 購買生協経営概況

生協名	年度	組合員数	前年比	出資金	前年比
京都生協	84	178,620	116.8	2,153,586	127.5
	85	206,092	115.3	2,668,727	123.9
府庁生協	84	6,827	103.1	19,312	108.8
	85	7,188	105.3	21,415	110.9
京大生協	84	19,651	106.4	172,764	110.3
	85	20,830	106.0	190,138	110.1
立命大生協	84	18,544	96.9	199,159	113.5
	85	18,839	101.6	227,166	114.1
同志社大生協	84	18,841	92.7	163,784	108.7
	85	19,079	101.2	168,211	102.7
竜大生協	84	7,115	90.2	61,188	107.1
	85	7,100	99.8	68,104	111.3
府医大・府大生協	84	5,404	114.9	32,976	115.1
	85	5,679	105.1	36,010	109.2
工織大生協	84	3,293	101.4	26,538	130.0
	85	3,386	102.8	26,562	100.1
教育大生協	84	1,879	99.6	20,801	127.6
	85	1,906	101.4	20,578	98.9
平安女学院生協	84	1,454	91.7	2,959	91.9
	85	1,516	104.3	3,097	104.7
橘女子学園生協	84	1,118	91.5	3,752	114.9
	85	1,214	108.6	3,754	100.1
あみの生協	84	1,284	104.9	6,504	101.5
	85	1,349	105.1	6,656	102.3
総計	84	264,030	109.8	2,863,321	123.7
	85	294,178	111.4	3,440,418	120.6

(金額単位千円)

総資産	前年比	総供給高	前年比	当期剰余
10,677,733	119.3	33,993,187	126.0	344,128
12,733,679	119.2	39,100,465	115.0	236,275
131,198	107.8	1,320,586	139.3	5,290
201,900	153.9	1,470,775	111.3	6,000
975,063	112.7	4,220,563	103.3	6,050
1,030,313	105.7	4,463,622	105.7	7,099
635,396	103.8	2,823,311	104.9	90,519
856,963	134.9	2,955,269	104.7	70,317
500,774	97.8	2,102,798	102.2	34,674
525,577	105.0	2,125,624	101.1	49,000
226,442	101.2	829,252	102.5	4,375
240,499	106.2	814,144	98.2	1,795
160,920	111.4	755,311	104.7	6,183
175,698	109.2	828,551	109.7	6,393
62,509	101.2	353,873	100.6	2,768
75,346	120.5	392,168	110.8	3,939
55,532	97.5	230,364	108.3	3,360
51,412	92.6	241,213	104.7	1,795
16,747	106.0	59,892	101.8	1,198
17,373	103.7	63,150	105.4	1,298
15,905	111.6	38,456	106.6	1,257
16,630	104.6	42,105	109.5	1,010
17,104	119.7	82,886	256.4	468
23,030	134.6	116,347	140.4	1,238
13,475,323	114.4	46,810,479	120.6	500,270
15,948,420	118.4	52,613,433	112.4	386,159

1985年度 活動日誌

年月日	活動行動内容	年月日	活動行動内容
85			・消団連主催
4/1	「府連ニュース」生協規制反対臨時号づくり打合せ	25~26	各県消団連と全国消団連との連絡会議
2	京都市消費者センターとの打合せ(消団連)	26	府連第1回生協規制対策委員会
3	平和活動推進委員会	27	「琵琶湖総合開発計画」学習会
〃	府市民団体協議会第15回幹事会	〃	自治問研「仕事おこしを考える」研究会
8	府連三役会議	28	あみの生協第2回総代会
〃	日生協全国県代表幹事会(～9)	30	京都市消費者まつり打合せ
9	京都市衛生研究所 工藤主査来訪(消団連)	〃	府連32回総会
10	京都市消費者まつり第3回打合せ(消団連)	5/3	日生協組織部 伊藤氏来訪
11	日生協 米問題小委員会	8	京商連・府生協連定期協議会事務局会議
〃	府連監事会	9	京都市消費者まつり奥村代表幹事との打合せ(消団連)
13	京都消団連幹事会	10	八幡市助役・総務部長と京都生協との懇談 立会い
〃	「大型間接税」学習会(消団連)	11	共産党議員団との懇談会
15	府連三役会議	〃	府連第2回生協規制対策委員会
16	日生協第1回沖繩ツアー(～19)	13	府連三役会議
〃	夏目弁護士へ依頼(高橋さん立替金問題)	〃	府連第1回理事会
〃	「府民まつり」第1回実行委員会	14	日生協大衆運動委員会(～15)
〃	市政問題懇談会	15	洗剤問題交流集会実行委員会
17	府市民団体協議会第16回幹事会	〃	府市民団体協議会第17回幹事会
〃	関西支所運営委員会(～18)	〃	日生協理事会(～16)
18	京都市消費者週間実行委員会	16	京都市消費者まつり
19	日生協大衆運動委員会	〃	京都消団連常任幹事会
20	洗剤問題近畿地区組合員交流集会実行委員会	17	平和行進打合せ
21	清掃を考える政策シンポジウム	18	平和問題推進連絡会(関西地連)
22	府連三役会議	20	京都生協第21回総代会
〃	あみの生協との話し合い	21	人工甘味料「アスパルテーム」の安全性を考えるつどい(関消懇)
〃	生協規制反対京都選出国會議員要請活動(山中, 玉置氏)	22	府連平和運動推進委員会
23	関消懇運営委員会	24	府連第3回生協規制対策委員会
24	生協規制反対第二次要請行動(11名)	〃	京都平民懇第6回総会
〃	府連平和活動推進委員会	〃	京都市消費者まつりターミナル宣伝活動
25	「食糧問題を考えるつどい」京都生協	25	第3回京都市消費者まつり(～26)
		〃	医・府大生協総代会

年月日	活動行動内容	年月日	活動行動内容
5/25	教育大生協総代会	19	生協規制反対第五次要請活動
〃	工織大生協総代会	〃	府市民団体協議会第19回幹事会
〃	核廃絶・平和を願うつどい	20	関西地連総立総会
27	地元国會議員要請活動(山中氏)	〃	〃 運営委員会
〃	京都市消費者まつり(施設見学会)	〃	京都医療生協創立35周年レセプション
28	平和学習会(安斉育郎氏)	〃	京都市政問題シンポジウム(市職労)
〃	京都労福協第29回総会	21	京都自治問研経営相談
〃	市長選挙問題懇談会	〃	せいきょう反核・平和フェスティバル
29	平和学習会(安斉育郎氏)	24	府連第5回規制対策委員会
〃	府庁生協総代会	25	平和行進 日本山妙法寺と打合せ
〃	第30回京都母親大会祝賀会	〃	京商連との定期協議会事務局会議
30	京都市消費者会議	26	平和行進 滋賀県引継式
〃	文化事業センター株主総会	〃	平和行進 通し行進者歓迎集会
31	関消懇運営委員会	27	京都市下水道局より河川汚染の実情調査(消団連)
〃	竜大生協総代会	〃	府市民団体協議会 会計監査
〃	中華全国供給合作総社代表団入洛	〃	自治問研 組織財政委員会
6/1	京大生協総代会	30	平和行進 奈良県引継ぎ
〃	立命生協総代会	7/1	府連三役会議
〃	自民党伊吹文明代議士と懇談	〃	府連常任理事会
〃	平和行進(日本山妙法寺, 府連青, 府生協連)	〃	第2回水と環境を守るシンポジウム(京都消団連後援)
3	府連三役会議	〃	府連牛乳協議会
〃	府連常任理事会	2	「府民まつり」実行委員会
4	大学生協関西地連との事務局会議	3	府市民団体協議会第20回幹事会
〃	京都原水協と平和行進打合せ	4	府連平和活動推進委員会
5	生協規制反対第四次要請行動(45名参加)	〃	府連融資委員会
〃	府市民団体協議会第18回幹事会	〃	自治問研理事会
6~7	日生協第35回総会	5	関消懇運営委員会
8	せいきょう反核フェスティバル音楽センター打合せ	6	天橋立環境会議
〃	同志社生協総代会	8	府生協連・京商連第15回定期協議会
〃	民社党副委員長永末英一代議士との懇談会	〃	「戦争展」生協打合せ会議
10	府連第4回生協規制対策委員会	9	洗剤問題近畿地区組合員交流集会実委
11	カネミ油症原告団署名要請のため来訪	11	京都労福協第2回理事会
〃	近畿地区生協連絡交流会	〃	京都府消費生活課長と活合い
12	日生協 野崎常務来訪	〃	日生協第1回大衆運動委員会(～12)
13	府連平和運動推進委員会	12	第4回洗剤問題近畿地区生協組合員交流集会
14	京都労福協第1回理事会	15	府連理事会
15	京都消団連幹事会	16	関電・大阪ガス交渉(関消懇)
〃	全自交幹部と消団連幹事の懇談会	17	府市民団体協議会第21回幹事会
17	府連理事会	18	京都消団連常任幹事会
		〃	府連平和活動推進委員会

年月日	活動行動内容	年月日	活動行動内容
18	日生協第2回理事会(～19)	10	府連第8回生協規制対策委員会
19	近畿地区組合員交流集会実行委員会	〃	京都労福協第4回理事会
20	「戦争展」食堂打合せ会議	12	近畿地区組合員交流集会(～13)
21	大学生協関西地連学習会(生協規制問題)	14	自治問研会計監査
23	洗剤問題交流集会総括会議	16	府連理事会
24	府市民団体協議会第37回全体会議	17	関消懇運営委員会
25	関西地連運営委員会(～26)	〃	府連牛乳協議会
26	「戦争展」拡大幹事団体会議	18	京都消団連常任幹事会
〃	母と子の琵琶湖見学会	〃	京都消費者大会実行委員会
29	府連事務所契約	〃	自治問研監事会
30	日生協第1回全国県代表幹事会議(～31)	〃	府市民団体協議会第5回幹事会
8/1	府連第6回生協規制対策委員会	19	日生協第3回理事会(～20)
2	かわち市民生協 山田常務来訪	20	府連第9回生協規制対策委員会
〃	85京都平和のための戦争展(～10)	21	京都自治体問題研究所総会
3	自治問研理事会	24	生協規制問題学習会(洛中支部)
7	府市民団体協議会第1回幹事会	25	京都消費者大会 府市要請活動
8	近畿地区会員会議	〃	平和行進総括会議
12	京都労福協第3回理事会	26	府連主催 京都生協施設見学会
14	府市民団体第2回幹事会	27	大型店問題を考える懇談会
19	府連牛乳協議会	28	洗剤問題実行委員会
21	府連第7回生協規制対策委員会	30	府連第10回生協規制対策委員会
〃	府市民団体第3回幹事会	〃	生協規制問題学習会(京都生協洛中分会)
22	全国消団連夏期研修会(～23)	10/1	〃 (洛西支部)
25	社会教育研究全国集会	2	京都消団連常任幹事会
26	府連三役会議	〃	京都消費者大会実行委員会
〃	府連理事会	〃	府市民団体協議会第6回幹事会
27	第23回労働者福祉活動者会議(～28)	3	関西地連運営委員会(～4)
〃	厚生省員外利用実態調査(～30)	7	府連常任理事会
29	京都消団連常任幹事会	〃	関消懇運営委員会
30	京都自治問研組織財政委員会	9	京都消費者大会実行委員会
31	関西地連会員代表者会議	〃	大型店の規制を考える懇談会
9/1	高齢者の医療とくらし・福祉を守る 9・1全国集会	15	総評谷口内事務局長・国労木嶋委員長 来訪
〃	乙訓医療生協第1回臨時総代会	〃	生協規制問題学習会(同志社生協)
2	府連常任理事会	16	京都消費者大会実行委員会
4	府市民団体協議会第4回幹事会	〃	府市民団体協議会第7回幹事会
5	日生協大衆運動委員会(～6)	17	京都市消費者保護条例制定10周年記念 式典
6	自治問研理事会	〃	安全を脅かす規制緩和と人工甘味料 アスパルテームについて考え、 行動する全関西連絡会発会の集い
〃	京都消団連会計監査	18	市場開放 伊丹空港輸入商品実態調査
7	京都消団連第13回総会		
〃	合成洗剤研究会(～8)		
〃	あみの生協組合員拡大支援行動(～8)		

年月日	活動行動内容	年月日	活動行動内容
19	共産党国会議員団との懇談会	27	部)
20	日生協 生協規制対策委員会	27	京商連との定期協議会事務局会議
21	府連三役会議	28	府市民団体加盟団体 生協規制反対申 入れ活動
〃	府連理事会	〃	京都大型店規制懇談会
22	府連第11回生協規制対策委員会	29	日生協 関西地連運営委員会
〃	大学生協京滋ブロック緊急生協規制反 対決起集会	〃	京都府85年要請活動
23	第16回京都消費者大会実行委員会	〃	生協規制問題学習会(京都生協洛西支 部)
24	生協規制反対全国緊急組合員集会	〃	府連融資委員会
25	国鉄を守る全国500万署名京都実行委 員会	12/1	京都市 市民の台所を守る運動月間
27	第16回京都消費者大会	2	京都市 生協85年度要請活動
30	京商連との定期協議会の事務局会議	〃	府連常任理事会
11/4	全国消費者大会構成劇練習	〃	京都大型店規制懇談会幹事会
5	関西電力・大阪ガス円高差益料金値下 交渉	3	第13回府連生協規制対策委員会
〃	立命生協 生協規制反対学習会	〃	ものを大切にする運動京都府推進会議
〃	日生協緊急理事会	4	府市民団体協議会第10回幹事会
6	府市民団体協議会第8回幹事会	7	第8回農業と食生活を考えるつどい
〃	京都労福協第6回理事会	10	生協規制問題学習会(京都生協宇治支 部)
〃	第19回全国生協大会	〃	日生協 臨時生協規制対策委員会
7	第24回全国消費者大会(～8)	〃	日生協 大衆運動委員会(～11)
8	各県消団連事務局長会議	11	日生協 全国県代表幹事会議(～12)
9	府連・商工団体・政党に生協規制反対 の申入れ	13	京都消団連幹事会
10	府連牛乳協議会 大山乳業との交流会 (～11)	〃	国鉄分割・民営化問題学習会
11	京都大型店規制懇談会	16	府連三役会議
13	消団連常任幹事会	〃	府連理事会
〃	第16回京都消費者大会実行委員会	17	日生協 関西地連運営委員会(～18)
〃	京都労福協 労働者福祉京都中央集会	18	関西地連近畿ブロック交流会
14	消費者被害の救済を求める集い	〃	府市民団体協議会第11回幹事会
15	府連第12回生協規制対策委員会	20	京都大型店規制懇談会幹事会
18	府連三役会議	21	京商連との定期協議会事務局会議
〃	府連理事会	23	京商府生協連・京商連第16回定期協議 会
〃	山村氏送別会	25	府連四次中期計画委員会
20	消団連神戸港見学(輸入品の実態調査)	28	八木町幹部との懇談
〃	府市民団体協議会第9回幹事会	〃	京都府労働部次長上坂氏来訪
21	日生協理事会(～27)	1/7	府連第14回生協規制対策委員会
22	日生協全国県代表幹事会議	8	府市民団体協議会第12回幹事会
25	京都府中小企業団体中央会流通委員会 と京都生協との懇談会	〃	京都府融資金問題で労福協・労働金庫 に要請
26	生協規制問題学習会(京都生協左京支 部)	10	京都府労政課 融資問題話合い
		11	生協規制問題学習会(京都生協北支部)

年月日	行 動 活 動 内 容	年月日	行 動 活 動 内 容
1/11	生協規制問題学習会（京都生協南丹支部）	6	関西地連運営委員会（～7）
13	京都府監査 事業連合	7	生協規制問題学習会（京都生協長岡京KC）
〃	生協規制問題学習会（京都生協城南支部・洛東支部）	10	生協規制問題学習会（京都生協山城支部）
14	京都労福協第8回理事会	13	融資金問題で京都府労働部・府議会への要請行動
〃	生協規制問題学習会（京都生協西賀茂KC）	14	府連第16回生協規制対策委員会
16	生協規制問題学習会（京都生協南丹支部）	15	テレホンサービス阿部さん来訪（消団連）
17	「市場開放・アスパル全関西連」市場部会学習会	17	府連三役会議
18	消団連常任幹事会	〃	府連理事会
19	京都生協文化のつどい	18	日生協 近畿地区組合員商品活動交流集会（於 京都）（～19）
20	府連三役会議	〃	くらしを守る共同宣伝研究会
〃	府連理事会	19	府市民団体協議会第15回幹事会
〃	府連第四次中期計画委員会	21	京都消団連幹事会
21	大阪ガス京都支社円高差益値下げ交渉	22	国民本位の国鉄改革を要求する全関西利用者・市民のつどい
22	府市民団体協議会第13回幹事会	23	蜷川没後5周年のつどい（府市民団体協）
〃	日生協 全国政策討論集会（～24）	24	くらしを守る春の生協組合員集会
24	生協規制問題学習会（京都生協向日市KC）	26	京都労住生協創立20周年記念総代会
27	生協規制問題学習会（京都生協中丹支部）	〃	3・8まで第5回日生協アメリカ流通セミナー
〃	京都府労働部交渉（融資金問題）	3/3	府連第四次中期計画委員会
28	関西電力京都支店円高差益値下交渉	〃	府連常任理事会
〃	京都府監査 京大生協	5	府市民団体協議会第38回合体会議
〃	府連第15回生協規制対策委員会	〃	府市民団体協議会第16回臨時幹事会
29	生協規制問題学習会（京都生協右京支部）	〃	京都生協と八木町との懇談会（府連立会い）
30	2・24集会 あいさつ要請	6	関電・大阪ガス交渉（関消懇）
〃	日生協第5回理事会（～31）	〃	日生協 大衆運動委員会（～7）
31	日生協アメリカ流通セミナー研修会	8	日生協 関西地連近畿地区会員会議
2/1	京都医療生協新年会	11	「アスパル・市場開放全関西連」運営委員会
3	生協規制問題学習会（京都生協乙訓支部）	〃	府連牛乳協議会
〃	府連常任理事会	12	日生協 関西地連平和推進会議
4	生協規制問題学習会（京都生協城陽KC）	18	府連三役会議
〃	京都府監査 京都生協	〃	府連理事会
5	2・24集会 あいさつ要請行動	19	府市民団体協議会第17回幹事会
〃	府市民団体協議会第14回幹事会	25	4・8集会実行委員会（関西地連）
6	関消懇 マスコミ関係者との懇談会	26	4・8集会結団式・生協法学習会

年月日	行 動 活 動 内 容	年月日	行 動 活 動 内 容
3/27	京都労福協第27回総会	29	タクシー問題シンポジウム
〃	日生協第6回理事会（～28）	31	府連常任理事会

文化事業の発展、強化に関する協定

京都生活協同組合（以下甲という）と大学生協同組合・京都事業連合（以下乙という）は、京都の生協運動を発展させるため、これまでもさまざまな協力、提携を重ねてきたが、このたび新たに組合員の文化・スポーツ・レクリエーションなどの文化的要求にこたえて、文化事業の発展、強化をはかるため、協力、提携をすすめることで合意した。

文化・スポーツ・レクリエーションに対する要求は、人間として生きていくために必須のものであり、今後の生協の活動のなかで、より重要な位置をしめるであろうことは疑いない。また、文化事業としての発展の前提は、組合員自身の自主的な文化活動の発展であり、組織的な活動と切りはなしては考えられないものである。

甲においては、全体企画として、また地域ごとの企画として、組合員の文化活動が年々大きく前進してきており、これを事業化することによって、さらに豊かな発展をめざすべき段階にきている。

乙においては、組合員が自主的に多彩な活動をくりひろげている一方、はやくから株式会社・京都文化事業センター（以下文化事業センターという）を設立して、旅行、保険、その他の斡旋事業など組合員の要求に事業として対応し、大きく利用を拡大してきている。そして、その活動の進展のなかで、すでに各大学生協がそれぞれ認可を得て旅行業を営み、あらたな学内の要求にこたえていく段階にきているし、また、保障事業の分野においても「学生総合共済」が充実、強化され、中心となってきた。

したがって、現在では文化事業センターを新たな発展にむけて方向づけることができるようになった。それは、京都の全生協組合員の利益をまもる立場に立って活動を強化する方向である。

以上の点をふまえ、甲、乙両者は、文化事業センターの共同運営を軸に双方の文化事業を発展、強化させるため、以下のとおり確認し、協定する。

なお、京都府生活協同組合連合会（以下丙という）は、京都の生協運動の連帯を強化し、運動の前進をはかる立場から、この協定に立ち会うものとする。

記

一、双方の文化事業の発展、強化のため、文化事業センターの運営を甲、乙の共同運営にきりかえる。

二、文化事業センターの事業の対象は、主として甲の組合員となる。また、乙の会員の旅行業務や保障事業との整合や提携及び生協未設立大学学生への対応なども重要な柱のひとつに位置づける。

なお、以上の状況にあわせて事業内容、甲の組合員の運営参加などの必要な整備をはかっていくものとする。

三、文化事業センターの経営責任は、基本的に甲がなうものとする。このことをふまえて、出資比率、役員構成を決める。

四、共同運営へのきりかえの具体的方法、財産の引継ぎ、出資、費用負担、職員人事、役員構成、日程等については、別途覚書を取りかわすものとする。

五、本協定に記載のない事項および解釈に疑義が生じたときは、双方の理事会を代表するもの間で協議するものとする。

1985年 月 日

京都市南区吉祥院石原上川原町1番地

甲 京都生活協同組合

理事長 横 関 武

京都市左京区高野玉岡町23番地の3

乙 大学生協京都事業連合

理事長 伊 吹 良太郎

京都市中京区夷川通烏丸東入西九軒町291

せいぎょう会館2F

丙 京都府生活協同組合連合会

会長理事 西 尾 雅 七